

【実践事例（14）】

（気仙沼市立大谷小学校）

震災遺構の訪問等を通じて災害を自分事として考える取組

学年ごとに、震災遺構の訪問等を通じた系統的な防災教育を教育課程に位置付けている。

防災教育の内容（4学年・総合的な学習の時間）

時数	内容	
2	<p>【防災学習】</p> <p>○「災害伝承を取り入れた防災カードゲーム （このつぎなにがおきるかな?）」</p> <p>講師：有識者（大学准教授・学校防災アドバイザー） 気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館スタッフ</p> <p>災害伝承を取り入れた防災カードゲームの授業を受け、楽しみながら防災について学んだことにより、自分たちも災害伝承に取り組んでみたいという意欲を持つことができた。</p>	
5	<p>【震災遺構訪問学習】</p> <p>○気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館</p> <p>講師：気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館副館長</p> <p>事前の防災学習を生かし、講師に詳しく説明していただきながら、東日本大震災で被災した気仙沼向洋高校の校舎を見学した。</p> <p>見学のあとは、「振り返りワークショップ」を行い、一人一人が感じたことや伝えたいことを考え、発表するとともに、見学から学んだことを生かして「家でやること」「地域でやること」「学校でやること」を考え、グループや全体で共有した。</p> <p>見学を通じ、東日本大震災の様子を知り、災害を自分事として捉え、今後、総合的な学習の時間で取り組む伝承の学習に生かしていこうとする意欲を高めることができた。</p>	 
13	<p>【ポスターで災害を伝承】</p> <p>震災遺構の訪問等を通じて学んだ災害の恐ろしさや防災の重要性などを、どのように伝承していけばよいかを、ポスター制作により、自分事として捉え、震災を知らない人にも分かるよう伝える（伝承）する大切さを学んだ。</p> <p>学習の成果は、防災発表会で、保護者や地域の方々、関係機関の方々などに向けて発表した。</p>	 